



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社シンクロ・フード 上場取引所 東
コード番号 3963 URL <https://www.synchro-food.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 藤代 真一
兼 事業部長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理部長 (氏名) 森田 勝樹 (TEL) 03-5768-9522
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,654	26.1	761	17.4	760	17.0	518	18.3
2023年3月期第3四半期	2,105	54.1	648	135.6	650	134.7	438	145.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 519百万円(18.5%) 2023年3月期第3四半期 438百万円(145.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	19.42	19.37
2023年3月期第3四半期	16.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	4,706	4,056	86.2
2023年3月期	4,274	3,534	82.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,055百万円 2023年3月期 3,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 配当金の内訳

2024年3月期期末(予想) 普通配当 5円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	19.4	1,000	14.1	1,000	13.9	700	11.4	26.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	26,893,800株	2023年3月期	26,893,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	198,733株	2023年3月期	201,807株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	26,693,836株	2023年3月期3Q	26,655,012株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復など、経済活動の正常化が一段と進んだ一方、資源価格の高騰や物価上昇に加え、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がありますが、先行きが不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、「多様な飲食体験から生まれるしあわせを、日本中に、そして世界へと広げる。」をビジョンとして、新中期経営計画の着実な実行と、非連続成長に向けた取組みの推進、の2点を経営方針に掲げ、事業を推進してまいりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,654,971千円(前年同期比26.1%増)、営業利益は761,382千円(同17.4%増)、経常利益は760,306千円(同17.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は518,628千円(同18.3%増)となりました。

サービス別の売上高の内訳は、運営サービス2,168,868千円(同30.3%増)、出退店サービス328,225千円(同9.0%増)、その他サービス157,878千円(同12.8%増)であります。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

(メディアプラットフォーム事業)

当事業は、「飲食店ドットコム」をはじめとした飲食店向けのサービス及び、「飲食店ドットコム」に対してサービス提供する不動産事業者や食材仕入事業者等の関連事業者向けのサービスによって構成されております。

「飲食店ドットコム」においては、出店開業、改装、業態変更等の動きが堅調に推移したことで、2023年12月末時点における登録ユーザー数が284,360件(前年同期比10.5%増)と順調に増加しております。求人広告においては、飲食業界の人材採用の活発な動きが継続しており、直販、代理店共に積極的な営業活動により、売上高が伸長しました。

また、「飲食店ドットコム」に対してサービス提供する不動産事業者や内装事業者等の関連事業者については、4,951社(同3.5%増)と増加しております(注)。

以上の結果、メディアプラットフォーム事業の売上高は2,507,005千円(同27.2%増)、セグメント利益は760,682千円(同22.4%増)となりました。

(M&A仲介事業)

当事業は、飲食店の事業譲渡や株式譲渡等のM&A仲介及び、飲食店が設備等を残置したまま退去する居抜き譲渡のサポートサービスによって構成されております。

売却相談件数については、M&A仲介はやや落ち着いたものの、居抜き譲渡は第2四半期会計期間と同等水準を維持しております。M&A仲介の成約については、上半期に譲渡時期の後ろ倒しが発生した案件も含め、順調に進捗しました。

以上の結果、M&A仲介事業の売上高は147,966千円(同9.7%増)、セグメント損失は260千円(前年同期は26,528千円のセグメント利益)となりました。

(注) 2023年12月31日時点において、不動産事業者、内装事業者、食材仕入事業者として登録している事業者数を記載しております。(内装建築.comに登録している内装事業者数は除く)

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,202,416千円となり、前連結会計年度末に比べて86,341千円増加しました。主な増加要因は、売上増加による現金及び預金の増加(前連結会計年度末比70,378千円増)であります。固定資産は503,853千円となり、前連結会計年度末に比べて345,040千円増加しました。主な増加要因は、のれんの増加(同159,112千円増)、顧客関連資産の増加(同72,431千円増)であります。以上の結果、総資産は4,706,269千円(同431,381千円増)となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は627,123千円となり、前連結会計年度末に比べて90,399千円減少しました。主な減少要因は、未払法人税等の減少(同79,594千円減)であります。固定負債は22,705千円となり、前連結会計年度末に比べて160千円増加しました。以上の結果、総負債は649,828千円(同90,238千円減)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は4,056,441千円となり、前連結会計年度末に比べて521,620千円増加しました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加(同518,628千円増)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2023年5月12日の「2023年3月期決算説明資料」に公表しました業績予想より修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,933,568	4,003,946
売掛金	146,895	138,596
前払費用	38,576	53,213
未収還付法人税等	—	488
その他	4,232	13,165
貸倒引当金	△7,197	△6,994
流動資産合計	4,116,074	4,202,416
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	41,244	47,724
工具、器具及び備品（純額）	5,484	13,964
有形固定資産合計	46,729	61,689
無形固定資産		
のれん	—	159,112
顧客関連資産	—	72,431
ソフトウェア	103	—
無形固定資産合計	103	231,544
投資その他の資産		
投資有価証券	13,353	14,183
出資金	300	300
敷金及び保証金	71,326	106,470
繰延税金資産	17,280	82,824
その他	9,720	6,842
投資その他の資産合計	111,980	210,620
固定資産合計	158,813	503,853
資産合計	4,274,888	4,706,269

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,969	18,950
未払金	89,104	83,483
未払費用	38,327	60,143
未払法人税等	192,638	113,044
未払消費税等	86,934	29,672
契約負債	252,370	308,639
預り金	14,151	12,847
その他	24	340
流動負債合計	717,522	627,123
固定負債		
資産除去債務	22,544	22,705
固定負債合計	22,544	22,705
負債合計	740,067	649,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	510,517	510,517
資本剰余金	498,517	499,131
利益剰余金	2,634,828	3,153,457
自己株式	△109,900	△108,230
株主資本合計	3,533,962	4,054,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	715
その他の包括利益累計額合計	—	715
新株予約権	858	850
純資産合計	3,534,820	4,056,441
負債純資産合計	4,274,888	4,706,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,105,508	2,654,971
売上原価	258,233	432,678
売上総利益	1,847,275	2,222,293
販売費及び一般管理費	1,198,823	1,460,911
営業利益	648,452	761,382
営業外収益		
受取利息	16	19
受取配当金	6	6
助成金収入	1,698	—
施設利用料収入	200	—
営業外収益合計	1,920	25
営業外費用		
和解金	—	900
為替差損	266	201
営業外費用合計	266	1,101
経常利益	650,106	760,306
特別利益		
新株予約権戻入益	5	8
特別利益合計	5	8
税金等調整前四半期純利益	650,111	760,314
法人税、住民税及び事業税	205,506	226,526
法人税等調整額	6,358	15,159
法人税等合計	211,864	241,686
四半期純利益	438,246	518,628
親会社株主に帰属する四半期純利益	438,246	518,628

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	438,246	518,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	715
その他の包括利益合計	—	715
四半期包括利益	438,246	519,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	438,246	519,343
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア プラット フォーム 事業	M&A仲介 事業	計		
売上高					
広告及び関連サービス(注4)	1,610,620	—	1,610,620	—	1,610,620
マーケティング(注5)	46,469	—	46,469	—	46,469
成功報酬(注6)	61,527	134,925	196,453	—	196,453
その他(注7)	251,966	—	251,966	—	251,966
顧客との契約から生じる収益	1,970,582	134,925	2,105,508	—	2,105,508
外部顧客への売上高	1,970,582	134,925	2,105,508	—	2,105,508
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,970,582	134,925	2,105,508	—	2,105,508
セグメント利益	621,293	26,528	647,822	630	648,452
その他項目					
減価償却費(注3)	20,650	331	20,981	—	20,981

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費は配分しております。

4. 広告及び関連サービスは、主に求人広告の掲載及び店舗物件情報の掲載、並びに広告掲載の効果を高めるサービスによる収入であります。

5. マーケティングは、主に飲食店に関するインターネット調査並びに「飲食店ドットコム」会員向けのメール配信サービスによる収入であります。

6. 成功報酬は、主に「飲食店ドットコム」におけるマッチングサービス、キッチンカーシェア・マッチング事業における出店料収入並びに子会社におけるM&A仲介事業であります。

7. その他は、主に求職者に対するメール配信サービス、月額課金サービスによる収入であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア プラットフォーム 事業	M&A仲介 事業	計		
売上高					
広告及び関連サービス(注4)	1,934,116	—	1,934,116	—	1,934,116
マーケティング(注5)	44,247	—	44,247	—	44,247
成功報酬(注6)	148,651	130,471	279,122	—	279,122
その他(注7)	379,990	17,494	397,485	—	397,485
顧客との契約から生じる収益	2,507,005	147,966	2,654,971	—	2,654,971
外部顧客への売上高	2,507,005	147,966	2,654,971	—	2,654,971
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,507,005	147,966	2,654,971	—	2,654,971
セグメント利益又は損失	760,682	△260	760,421	960	761,382
その他項目					
減価償却費(注3)	15,276	43	15,320	—	15,320
のれんの償却額(注3)	21,571	1,071	22,642	—	22,642

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は配分しております。

4. 広告及び関連サービスは、主に求人広告の掲載及び店舗物件情報の掲載、並びに広告掲載の効果を高めるサービスによる収入であります。

5. マーケティングは、主に飲食店に関するインターネット調査並びに「飲食店ドットコム」会員向けのメール配信サービスによる収入であります。

6. 成功報酬は、主に「飲食店ドットコム」におけるマッチングサービス、キッチンカーシェア・マッチング事業における出店料収入並びに子会社におけるM&A仲介事業であります。

7. その他は、主に求職者に対するメール配信サービス、月額課金サービスによる収入であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間に「メディアプラットフォーム事業」セグメントにおいて、シェルフィー株式会社より事業譲受を受けており、のれんが増加しております。当該事象によるのれんの発生額は172,570千円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

(事業の譲受)

当社は、2023年12月25日開催の取締役会において、株式会社Life Labの農林水産業専門人材マッチング事業の譲受を決議し、事業譲渡契約を締結いたしました。なお、2024年1月31日付で対象事業を譲り受けました。

1. 企業結合の概要（事業の譲受）

(1) 譲り受ける相手会社の名称及び事業

譲り受ける相手会社の名称 株式会社Life Lab

事業内容 農林水産業専門人材マッチング事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、これまで「食」領域の中でも飲食業界に特化してサービスを提供し、成長してまいりましたが、2022年に策定したビジョン“多様な飲食体験から生まれるしあわせを、日本中に、そして世界へと広げる”の実現に向けて、「食」に関わる川上から川下まで、全てのバリューチェーンにおいて価値提供したいと考えております。既存事業における飲食店、卸・メーカーとの繋がりを足掛かりに、今後は生産者（農林水産業界）との連携も強固にし、「食」のプラットフォームとしての更なる進化、「食」領域全体への貢献を目指すものであります。

(3) 企業結合日

2024年1月31日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

(5) 企業結合後の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式会社Life Labより事業を譲受けたためであります。

2. 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得原価 148,500千円

取得の対価 現金及び預金

3. 取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

4. 発生したのれんの金額、発生要因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産、負債の金額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。